

東海自然歩道「柘植～伊勢廻寺、石山寺～瀬田川洗堰」

◎日程 2017年7月21～23日

◎メンバー Hama (L)、Sachi、Mitsu、他1名

今回の滋賀県コースは JR 草津線をアプローチに使用するので、宿は草津駅周辺を予定していましたが、瀬田のゴルフ場で開催されるレディースゴルフトーナメントとちょうど日程が重なり、大津から草津にかけての宿はどれも満室で、少々遠い近江八幡でやっとビジネスホテルが予約できました。そのため乗り換えの待ち時間も含めた移動時間が長くなり、柘植から紫香楽宮跡までの約 10 時間、紫香楽宮跡から石山寺までの約 9 時間の歩行はかなり厳しいので、途中でのエスケープも想定して実施することにしました。

7/21 前泊する近江八幡までの移動のみとし、近江八幡に到着した時間に応じて自由に近江八幡観光を楽しみました。小生の場合は夫婦で 11 時半頃に近江八幡に到着したので、コインロッカーにザックを放り込んでから歩いて八幡堀まで行き、事前に調べておいた店で近江牛のランチ (近江牛づくし弁当) を食べ、ロープウェイで八幡山に登り八幡山城址を散策しました。

八幡山観光を終えてバスで近江八幡駅に到着する直前で駅に向かって歩いている Sachi さん、Mitsu さんのお二人を発見。お二人は我々より 1 時間以上前に近江八幡に到着して八幡堀めぐりや観光をされていたとのことで、ランチは近江牛のすき焼きだったそうです。ホテルにチェックイン後、夜はいつものパターンで安心して飲める居酒屋チェーン。今回は魚民でした。



(八幡堀)



(八幡山から琵琶湖)

7/22 ホテルの朝食は 7 時からだったのですが、15 分早く準備して頂いたもので予定より 1 本早い JR 琵琶湖線・近江八幡駅 7:23 発で草津駅へ。が、結局本数の少ない JR 草津線は予定通りの 8:02 発。終点の柘植駅には 9 時前に到着です。晴れて朝から蒸し暑いなかでの歩行開始です。

柘植駅から余野公園の手前までは奈良へと続く「山の辺ルート」を歩いて本線に合流します。余野公園はツツジの名勝地だそうですが、お花の時期は終わり今は美しい緑の公園でした。広々とした芝の広場もあり、県道側の公園の入り口には蒸気機関車 D51 も置いてありました。公園からは県道の歩道を歩いて JR 草津線の線路を越え、すぐに線路沿いの道へ階段を下りますが階段は草茫茫々。しかも蔓が這っていて足が引っ掛かり危ないのなんの。階段を下りたら県道を潜り、線路沿いを少し北に歩き、突きあたりから西に向う県境の尾根道に入ります。山道は荒れている個所が多く、草で踏み跡が分かり難いと

ころがあったり、笹の藪漕ぎ、根っこから倒れて道を塞ぐ朽ちた大木、不意に顔に貼り付くクモの巣等々、歩行を妨げる障害が次々と現れます。しかも鬱蒼とした樹林の中は蒸し暑くて、全然楽しめないルートでした。また、所々でアスファルト道も歩くことになりますが、直射日光と路面の照り返しが強烈で、生活道路が入り組んだ集落に出会うと指導標が少ないうえに表示が分かり難く、何度かルートを探してウロウロする羽目になりました。が、アスファルト道では日陰さえあればヤマビルの心配をせずに休憩や水分補給ができたので、山道から抜けるとホッとほしましたが・・・。



(行く手を阻む倒木に難儀・・・)

山道から交通量が多いのに歩道が無い県道 775 号に出て、三重県伊賀市と滋賀県甲賀市の県境を越え 15 分ほど歩いて 13 時過ぎに伊勢廻寺 (いせばじ) に到着。もう少し早く到着できるかとも思っていたのにコースタイム通りで、このペースだと紫香楽宮跡まであと 6 時間。日差しが強く蒸し暑いなかをあと 6 時間歩くのはもう無理ということで本日の歩行はここで終了としました。伊勢廻寺は本堂の扉が閉まっていたので本堂の参拝はできませんでしたが、庭の日陰でゆっくり大休止してタクシーを呼び、せっかく甲賀まで来たので



(伊勢廻寺本堂)

甲賀流忍術屋敷に行くことにしました。甲賀流忍術屋敷では甲賀流忍術の歴史や忍者本来の役目、屋敷の仕掛けなどの解説があり、隠し部屋や忍術道具を自由に見ることができて存分に楽しめました。忍術屋敷からは JR 草津線の甲南駅まで再び暑いなかを歩き、草津駅経由で近江八幡駅に戻って居酒屋「千年の宴」に直行して宴をしました。

7/23 朝から蒸し暑い曇り空。7:06 発の電車に乗る予定だったので昨夜コンビニで調達した朝食を各自部屋で済ませホテルをチェックアウト。今にも雨が降りだしそうな空模様に加え午後は雷雨の予報。予定通り紫香楽宮跡まで行って歩きだすと、太神山 599.6m (たなかみやま) を下るまでの約 7 時間はエスケープすることができません。悪天候で無理はしたくないので、いつでも引き返せる石山寺からコースを逆に辿ることにし、太神山までのピストンとすることに計画変更しました。

近江八幡駅から 6:51 発の JR 琵琶湖線で石山駅へ。石山駅で京阪石山坂本線に乗り換え石山寺駅には 7:16 着。石山寺駅近くの東海自然歩道案内板を確認して石山寺山門に向かって歩き出しました。石山寺の山門はまだ開いてなかったのが帰りに参拝することにして先に進みます。瀬田川洗堰までは本来のルートは違うのですが、瀬田川沿いの遊歩道を歩きました。瀬田川には競技用のボートやカヌーがたくさん出ている、遊歩道では釣りをしている人も。

瀬田川洗堰を渡り瀬田川に合流する支流の橋を渡ると広々とした田園地帯が広がっていました。その外側のアスファルト道をこれから登山口まで 1 時間以上歩くこととなります。厚い雲が出ているものの、時折日が差し天気はなんとか持ちそうです。しかし、蒸し暑いなか日陰が無いアスファルト道を進む気力がここで尽きました。他のメンバーも、どうしても先に進みたいという雰囲気では無かったのでここ

で引き返すことにしました。帰り道では瀬田川洗堰の手前にある「水のめぐみ館アクア琵琶」に立ち寄って琵琶湖・淀川の治水、生息する淡水魚等について学び、瀬田川洗堰からはバスで石山寺山門前まで戻って広大な境内をゆっくり散策し、源氏物語を執筆中の紫式部にも会ってきました。更にバスで「瀬田の唐橋」に立ち寄り、昼過ぎに京都駅へ。京都駅で解散して今回の東海自然歩道を終えました。



(瀬田川洗堰)



(石山寺)

結果として、今回は東海自然歩道を予定の3割くらいしか歩いていませんが、標高の低いハイキングコースを歩くには時期が悪かったことに加え、柘植から伊勢廻寺までの区間が余りにも酷いルートだったこともあって、無理して歩かなくても良かったと思っています。それより、仕方なく宿泊地とした近江八幡での観光、忍者屋敷見物、瀬田川の遊歩道歩き、石山寺散策の満足度が高かったのも、ほんとうに良い旅が楽しめました。

《記録》

- 7/21 近江八幡に到着した時刻別に2組で近江八幡観光。16:00 宿泊するホテルに集合（近江八幡にて宿泊）
- 7/22 近江八幡駅 7:38（JR琵琶湖線・草津線）＝8:52 柘植駅 9:00－9:40 余野公園－13:15 伊勢廻寺 13:50（タクシー）＝14:00 甲賀流忍術屋敷 15:00－15:35 JR草津線・甲南駅（近江八幡にて宿泊）
- 7/23 JR琵琶湖線・近江八幡駅 6:51＝7:16 京阪石山寺駅－8:30 瀬田川洗堰－（約500m 進み引き返す）
－アクア琵琶－南郷洗堰バス停（バス）＝9:30 石山寺 11:00（バス）＝11:10 瀬田の唐橋（バス）
＝JR琵琶湖線・石山駅 12:45 京都駅にて解散（帰宅）